

平成25年度 在宅療養連携研修会



医療と介護の連携に向けて

「口から食べる」を支えるために多職種でできること

会場：開港記念会館 講堂

日時：平成26年2月19日(水)

18時45分～21時

(受付：18時15分から)

参加費
無料

在宅療養連携における関係職種間の相互理解と連携力の向上を目指し、研修会を開催します。今回は、「口から食べる」をテーマに、医師、歯科医師からの講義と横浜市で活躍されている在宅療養連携に携わる専門職と、実際の連携において困っていることを共有します。連携初心者の方、初心に戻って他の職種の役割や必要としている情報等を確認したいという方に、お勧めです。「口から食べる」について理解を図りつつ、連携上手を目指しましょう。

第1部 講演 「摂食嚥下の全体像」～まずは、これだけは知っておいてほしい～

講師 赤羽 重樹氏 (横浜市医師会 西神奈川ヘルスケアクリニック院長)

「口腔ケアとは」～口腔ケアの再点検～

講師 蕭 敬意氏 (横浜市歯科医師会 太洋歯科クリニック院長)

第2部 ディスカッション

「“口から食べる”を支援する上で困っていることは・・・」

コーディネーター：赤羽 重樹氏 蕭 敬意氏

パネリスト：

青柳 かおる氏 (都筑区医師会ヘルパーステーション 管理者)

川村 幸久氏 (上永谷薬局磯子店)

小泉 嘉伸氏 (株式会社 未来設計・ケアマネジャー)

星野 早苗氏 (済生会南部訪問看護ステーション 管理者)

田村 嘉之氏 (横浜市中村地域包括支援センター 主任ケアマネジャー)

隅田 直子氏 (済生会横浜市南部病院福祉医療相談室 医療ソーシャルワーカー)

「死んでもいいから、父親の好きなあんこを食べさせたい」という家族からの要望があり、ヘルパーにも求めてくる・・・等のそれぞれの職種の「お困りごと」について、コーディネーター、パネリストと共に考えてみませんか。

対象 医師、歯科医師、薬剤師、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、訪問看護師、ホームヘルパー、介護保険サービス事業者、病院関係者(医療ソーシャルワーカー、退院調整に係わる看護師)など、医療・保健・福祉関係者の方

定員 250名 先着順

申込方法 FAXでお申し込み。裏面の申込書に必要事項を記入のうえお申し込みください。

申し込み期限 平成26年2月7日(金)まで

※ 定員になり次第、受付は終了となります。受付終了後に申し込みをいただいた方には、2月14日までにお断りのご連絡をさせていただきます。

主催 横浜市健康福祉局

協力 横浜市医師会、横浜市歯科医師会、横浜市薬剤師会、横浜市病院協会、横浜市介護支援専門員連絡協議会、横浜市訪問看護連絡協議会、横浜市訪問介護連絡協議会、横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会地域ケアプラザ分科会地域包括研究会

【お問い合わせ】 横浜市健康福祉局高齢在宅支援課 石原、大島、金野、秋山

TEL:045-671-2405 FAX:045-681-7789

FAX送付票 FAX 045-681-7789

横浜市健康福祉局高齢在宅支援課 秋山 宛

平成26年2月7日(金)必着

平成25年度 在宅療養連携研修会

「医療と介護の連携に向けて ～ 口から食べる ～」 (H26年2月19日開催) 申込書

事業所(所属)名	
事業所住所	〒 TEL () FAX ()
氏名	フリガナ
資格及び現在の業務について	医師 歯科医師 薬剤師 医療ソーシャルワーカー 介護支援専門員 看護師 ⇒ (病院勤務 訪問看護師 その他 ()) 歯科衛生士 管理栄養士 栄養士 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 放射線技師 介護職員 ⇒ (訪問介護員 サービス提供責任者 その他 ()) 地域包括支援センター ⇒ (主任ケアマネジャー 保健師等 社会福祉士 その他 ()) 行政職員 その他 ()
<p>お持ちの資格、すべてに○を付けてください。 また、現在従事している業務(職種)には、◎を付けて下さい。</p>	

【会場案内】開港記念会館

住所：横浜市中区本町1丁目6番地
TEL：201-0708

- ①JR京浜東北線・根岸線
「関内駅」南口より徒歩10分
- ②横浜市営地下鉄線
「関内駅」1番出口より徒歩10分
- ③みなとみらい線
「日本大通り駅」1番出口から
徒歩1分(約50m)

